

様式PCT/ IPEA/ 409 (表紙) (2005年4月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	5, 7, 9-11	有
	請求の範囲	1-4, 6, 8, 12-46	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	5, 7, 9-11	有
	請求の範囲	1-4, 6, 8, 12-46	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-46	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: J P 2002-373018 A (エヌティエヌ株式会社)
2002. 12. 26, 特許請求の範囲

文献2: J P 2002-229635 A (新日本製鐵株式会社)
2002. 08. 16, 特許請求の範囲

請求の範囲1-4, 6, 8, 12-46について

国際調査報告で引用された文献1-2の各々には、数式モデル保持装置と、最適化計算装置とを備えた生産・物流スケジュール作成装置が記載されている。

したがって、上記請求の範囲に係る発明は、上記文献1-2の各々に記載されているので、新規性・進歩性を有しない。

請求の範囲5, 7, 9-11について

生産・物流スケジュール作成装置における最適化処理として、フィードバックゲインを算出し、フィードバックゲインと工程内仕掛状態を表わす状態ベクトルとから、操作ベクトルを求めたのち、上記操作ベクトルの中で正值の大きい操作量が得られる製品順に各製品を移動可能な数だけ移動させるように操作することが国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。